

A²『個別の教育支援計画』ツール 操作マニュアル

—目次—

0. Excel ファイルの選択
1. はじめのページ
2. トップページの構成
3. 【様式1】フェイスシート
4. 【様式2】実態把握・目標設定・合理的配慮などの支援方法・評価(【様式3】へ自動反映)
5. A²[支援のための発達アセスメント]
6. A²[合理的配慮などの支援方法アイディアリスト]
7. 【様式3】評価の経年変化
8. 個別の教育移行支援計画
9. 【付録】校内／他機関連携シート
10. もしページを間違えたら・Excel の予測変換機能の解除
11. ご質問・お問い合わせ



日米の専門家の協力の基に作成

【学習指導要領に対応した発達アセスメントと合理的配慮】シリーズ ©A²研究会

A²『個別の教育支援計画』ツール Ver. 1.3 新任からできる実態把握 ぜひご活用ください

子どもの実態把握や、指導者のチーム支援に悩んでいませんか？

A²『個別の教育支援計画』は現場の先生方をお助けする便利ツールです。実態把握（新学習指導要領に対応した発達アセスメント）から合理的配慮を導き出すと共に、子どもの経年変化を記録することができます。

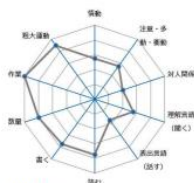
① 支援のための「発達アセスメントツール」としての活用

情動	1	発達段階に合わせた、適切な課題・活動の提供に努める	発達段階を選択し、クリックするだけ！	10	
	2	「子どもが学習する内容、方法、進度」を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	
	3	子どもが学習する内容、方法、進度を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	
	4	子どもが学習する内容、方法、進度を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	
	5	子どもが学習する内容、方法、進度を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	
	6	子どもが学習する内容、方法、進度を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	
	7	子どもが学習する内容、方法、進度を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	
	8	子どもが学習する内容、方法、進度を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	
	9	子どもが学習する内容、方法、進度を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	
	10	子どもが学習する内容、方法、進度を、発達段階に合わせた課題・活動に設定する		10	

小学部1段階
小学部2段階
中学部1段階
中学部2段階

新学習指導要領の段階
目安を判定

「長所」と「課題」を
その場で視覚化！



② 「合理的配慮のアイディアリスト」を参考資料として収録

項目	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
1	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
2	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
3	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
4	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
5	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
6	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
7	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
8	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
9	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮
10	配慮	配慮	配慮	配慮	配慮

実態把握リーダーや子どもの課題に
応じて、適切な配慮をらくらく検索！

※ ICF の視点の重視（社会参加への配慮）

③ 幼稚園・保育所/小学校（特別支援学校 小学部）

～中学・高校（特別支援学校 中学部・高等部）

④ 指導・支援の評価を経年で確認（3～18歳まで）

⑤ RTIモデルの活用と他機関連携

⑥ 愛着面の課題など、情動（行動/感情/情緒）の支援ニーズ考慮

難しい指導場面でのチーム
支援に役立ちます

特別支援教育の充実と 「意思決定」の支援

編集：A²研究会

監修：佐藤克敏（京都教育大学）ら

アドバイザー：Victoria Tarango

（LADC, 東ロサンゼルス大学）

協力：大阪府教育委員会支援教育地域支援

整備事業（大阪市ブロック）

大阪府立支援学校、市内幼稚園/小中学校

—2つのメイン機能—

A²[支援のための発達アセスメント]

- 特別支援学校学習指導要領の段階、
自立活動の区分の目安がわかる

500 以上

A²[合理的配慮など支援方法アイディアリスト]

- ICF の視点の重視（社会参加への配慮）

0. Excel ファイルの選択

A²「個別の教育支援計画」ツール: Excelファイル3種類(幼・保)・(小)・(中高)の中から、対象となる子どもが現在所属する校種のファイルを選択して開く

- ・ (幼・保) A²『個別の教育支援計画』ツール Ver.1.3
- ・ (小) A²『個別の教育支援計画』ツール Ver.1.3
- ・ (中高) A²『個別の教育支援計画』ツール Ver.1.3

1. はじめのページ

まずは、[はじめのページ] からスタート

- 1) 名前を記入(様式全体に反映される)
- 2) 所属学年(横軸)、おおよその発達年齢(縦軸)で、該当ボタンをクリック
該当学年・発達段階のトップページへ移動

ページ移動は
ボタンクリックで!

A²【学習指導要領に対応した発達アセスメントと合理的配慮】シリーズ

ご意見・ご質問: T-IwayamaK@medu.pref.osaka.jp

『個別の教育支援計画』 中学校/中学部・高等学校/高等部

ふりがな

名前

ひらがな入力: 文字入力→Eacキー→Enter

名前を入力⇒全ての様式に反映

はじめに 該当する をクリック

発達年齢・スキル	中1	中2	中3	高1	高2	高3
～5歳程度 就学前の知的発達段階	中1	中2	中3	高1	高2	高3
小学生程度 知的発達段階	中1	中2	中3	高1	高2	高3
中学生以上 知的発達・運動発達の 遅れない生徒	中1	中2	中3	高1	高2	高3

発達年齢の選択に迷う場合は、小学生程度知的発達段階をお選びください

発達段階を選択

コミュニケーション・学習
生活スキルの獲得に
顕著な課題がある

円滑なコミュニケーション
基礎的な学習ができる

全般的な知的発達・
運動発達に関する
課題は見られない

中学・高校 特別支援学校(中学・高等部)

A²【学習指導要領に対応した発達アセスメントと合理的配慮】シリーズ

ご意見・ご質問: T-IwayamaK@medu.pref.osaka.jp

『個別の教育支援計画』 幼稚園・保育園

ふりがな

名前

はじめに 該当する をクリック

発達年齢・スキル	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
～5歳程度 就学前の知的発達段階	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
小学生程度 知的発達段階	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
中学生以上 知的発達・運動発達の 遅れない生徒	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス

発達年齢の選択に迷う場合は、小学生程度知的発達段階をお選びください

幼稚園・保育園

A²【学習指導要領に対応した発達アセスメントと合理的配慮】シリーズ

ご意見・ご質問: T-IwayamaK@medu.pref.osaka.jp

『個別の教育支援計画』 小学校・支援学校(小学部)

ふりがな

名前

はじめに 該当する をクリック

発達年齢・スキル	中1	中2	中3	高1	高2	高3
～5歳程度 就学前の知的発達段階	中1	中2	中3	高1	高2	高3
小学生程度 知的発達段階	中1	中2	中3	高1	高2	高3
中学生以上 知的発達・運動発達の 遅れない生徒	中1	中2	中3	高1	高2	高3

発達年齢の選択に迷う場合は、小学生程度知的発達段階をお選びください

コミュニケーション・学習
生活スキルの獲得に
顕著な課題がある

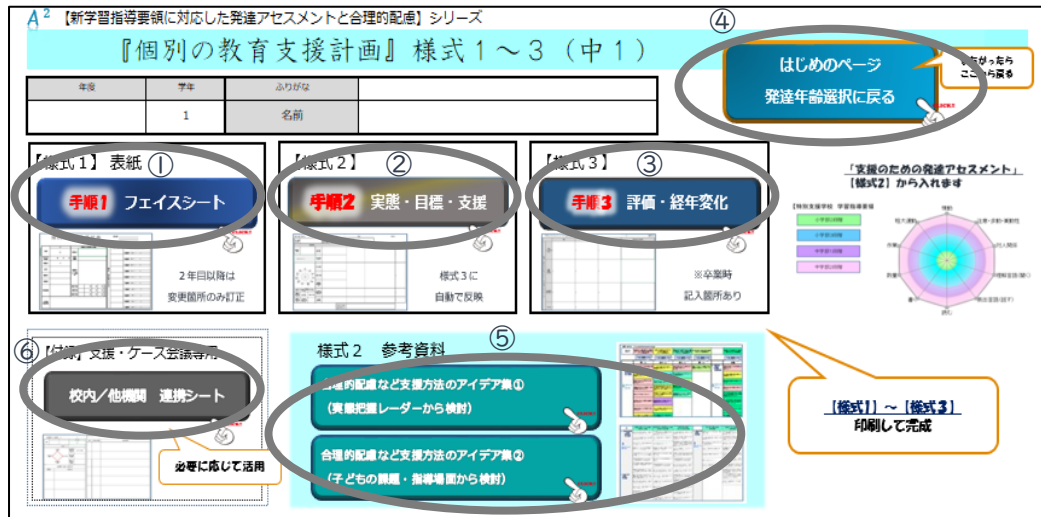
円滑なコミュニケーション
基礎的な学習ができる

小学校・特別支援学校(小学部)

2. トップページ

1) 【様式1】or【様式2】をクリックして開始。【様式3】は経年変化／個別の移行支援計画で使用する

- ① 【様式1】: 個別の教育支援計画として使用の際はここからスタート
- ② 【様式2】: A²〔支援のための発達アセスメント〕のみの使用の際はここからスタート



2) 以下のページは必要に応じて使用

- ④ [はじめのページ]: 名前の修正・発達段階や学年の再選択
- ⑤ A²〔合理的配慮などの支援方法アイディアリスト〕(【様式2】内にもリンクがあります)
- ⑥ 【付録】校内・他機関連携の記録シート

3. 【様式1】 フェイスシート

- 1) フェイスシートに基本事項(名前・診断名・手帳・服薬等)を記入
- 2) 医療・福祉など関係機関を記入
- 3) 担当者を記入
- 4) 対象学年(発達段階)をクリックして該当トップページへ戻る
- 5) ファイルから印刷(印刷範囲指定済み)

1) 個別の教育支援計画

2) 担当者

名前	診断名	担当
生年月日 (西暦)	診断	連絡先
学年	連絡先	連絡先
住所	連絡先	連絡先
連絡先	連絡先	連絡先
保護者	連絡先	連絡先
学校関係	連絡先	連絡先
主治医	連絡先	連絡先



トップページ



対象学年(発達段階)をクリック

4. 【様式2】 実態把握・目標設定・合理的配慮などの支援方法

- 1) 本人／保護者のねがい:実態に応じた本人の参画を目指す
- 2) 地域の行事やクラブ・趣味など社会参加の状況を記入
- 3) 他検査の情報等があれば記入
- 4) 好きなこと・支援に活かしたい良さを記入
- 5) 支援のための発達アセスメント **作成**をクリック

トップページ

【様式2】

5. A² [支援のための発達アセスメント]

- 1) 質問項目に、自分だけの力でできるかどうかチェック
「できる(やる)」・「時々または部分的」・「できない(やらない)」
3つの選択肢から、1つを選んでクリック

※項目は発達がより若い内容から開始する。番号が先に進むにつれ、発達の課題として難しくなっていく

2) アセスメントの結果を確認 ⇒【様式2】へ戻る

【支援のための発達アセスメント】小学生程度の発達段階用

2)

【特別支援学校 学習指導要領】

小学部2段階
小学部3段階
中学部1段階
中学部2段階

※ こちらの段階分けは、典型的な観点から推測される、あくまでも目安です

情動
粗大運動
注意・多動・衝動
対人関係
理解言語（聞く）
表出言語（話す）
読む
書く
数量
作業

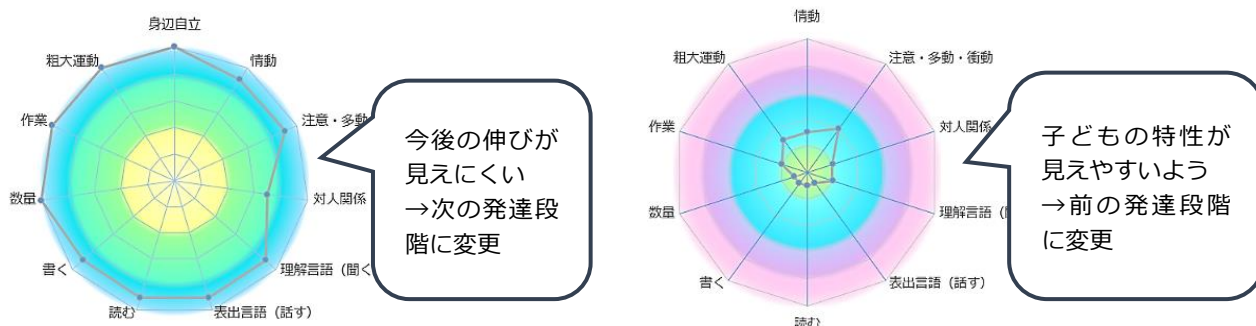
【様式2（実態・目標・支援）】 戻る

特別支援学校学習指導要領の発達段階（目安）

【様式2】

※アセスメントの変更が必要な場合 ⇒ トップページから[はじめのページ]に戻り、発達段階を再選択
【様式2】からアセスメントを再度チェックする（アセスメントを変更しても【様式1】は維持される）

“大き過ぎる”・“小さ過ぎる”場合は、子どもの支援ニーズがより明確に見えるアセスメントに変更



3) 【様式2】支援に活かす得意凸・合理的配慮や支援を要する課題凹を選択

3)

シート作成

アセスメントシートや諸検査からわかる得意なところ・課題なところ（チャートの凸と凹）

スペースを一回クリック → 右上に選択ボタンが出る → 選択する（それぞれ2つまで選択可能）

理解シートや諸検査からわかる得意なところ・課題なところ（チャートの凸と凹）

得意凸 (指導に活かす・伸ばす)	<input type="checkbox"/> 学習意欲・書く・数量 <input type="checkbox"/> 対人関係 <input type="checkbox"/> 注意・行動 <input type="checkbox"/> 情動・理解・感情・行動 <input type="checkbox"/> 生活動作・身辺自立・運動・作業	【注意・行動】
課題凹 (支援の検討)	<input type="checkbox"/> 生活動作 <input type="checkbox"/> 身辺自立・運動・作業	

6. A²[合理的配慮などの支援方法アイデアリスト]

- 1) 実態把握の記入: 子どもの様子を具体的に自由記述で(客観的・分析的視点をもって)記入
- 2) 長期目標の記入: 実態把握に基づいて、適切な目標(1年間)を記入。

長期的な社会参加・QOL等の視点から、年間目標として適切なステップを記入

- 3) 合理的配慮などの支援方法の記入: 実態・目標に基づく具体的な支援方法を記入
- 4) ファイルから印刷
(印刷範囲指定済み)

合理的配慮などのアイデアリストを参考にすることができる

横の関連性を基に合理的配慮等の支援方法を検討

トップページからもリストに移動できる

① A²アセスメント対応 A²[合理的配慮などの支援方法アイデアリスト]

A2アセスメントの領域に基づいて検討

② 診断名・臨床像から探す A²[合理的配慮などの支援方法アイデアリスト]

診断名・集団参加が難しい・落ち着きがない・読み書きが苦手などの課題から検討

※ アイディアリストはあくまでも参考資料として使用し、個々の実態に応じた具体的な支援を検討する

7. 【様式3】 評価の経年変化

1) 【様式2】の中で、評価を簡潔に記入 ⇒ 【様式3】へ自動で反映される

※どのような条件・セッティング(3人程度の少人数でなど)でできたのか等を記録する

2) 引継ぎ欄に次年度に引き継ぎたい情報・特別な手立て(効果的であった支援など)を記入

3) 【様式3】へ移動 自動反映された評価を含め、評価の経年変化を確認

4) 卒業時は、次の校種への引継ぎ欄事項を記入

5) ファイルから印刷(印刷範囲指定済み)

【様式3】

幼稚園・保育園

小学校・特別支援学校(小学部)

【様式2】から【様式3】へ
自動で反映

※ 途中でアセスメントの段階変更をした際は、手入力(コピペ)

【様式3】手入力 Ver.を印刷する⇒ 印刷範囲を変更して「印刷」

発達段階を変更した場合、
手入力 Ver.を使用できる
(変更前の発達段階での、
【様式2】からコピペ)

- ① ドラッグして範囲を指定
- ② ページレイアウト
→印刷範囲の設定
→ファイルから印刷

手入力ではなく、自動反映させたい場合は
過去の分を【様式2】に入力

8. 個別の教育移行支援計画

【様式3】（高校・高等部）

- 1) 実習・試験・面接時の配慮を記入
- 2) 実習の記録を記入
- 3) 卒業後への引継ぎ事項を記入
- 4) ファイルから印刷
(印刷範囲指定済み)

高校・高等部卒業時は
「個別の移行支援計画」の機能

評価と程度変化化

		中1	中2	中3	高1	高2	高3	実習・試験・面接時等の配慮
評 価 と 程 度 の 変 化 化 化	[自己調整と 社会性] 対人関係、行 動、情動など							1)
	[学習] 読み、書き 数量など							2)
	[社会参加]	6年間の記録						
	その他 特に準備							
高等学校／高等部へ 引き継ぎ					卒業後への引き継ぎ		3)	

中学・高校・特別支援学校（中学・高等部）

※A²「個別の教育支援計画」は様式の中に「個別の移行支援計画」に記載する要素が含まれておるため、
高校・高等部卒業時には「個別の教育支援計画／移行支援計画」として活用できる

「個別の教育支援計画／移行支援計画」は、ここまでの使用となります

9. 【付録】 校内／他機関連携シート ※必要に応じて使用

- 1) 記入者を記入
- 2) 機関の役割に応じた連携のための支援ニーズシートを作成 →戻る
- 3) 支援・配慮事項を記入
- 4) 支援連携等を行う関係機関を記載
- 5) 入学前の情報などがあれば記入
- 6) 支援会議・ケース会議などの記録
- 7) ファイルから印刷 (印刷範囲指定済み)

[トップページ](#)

支援二重

情報提供	支援二重	情報提供
生活援助・生活支援	自己調整と社会的性 (学習・教育・指導)	生活援助・生活支援
自己調整と社会的性 (学習・教育・指導)	自己調整と社会的性 (学習・教育・指導)	自己調整と社会的性 (学習・教育・指導)
I・E・E (I・E・E)	I・E・E (I・E・E)	I・E・E (I・E・E)
学習環境 (学習・教育・指導)	学習環境 (学習・教育・指導)	学習環境 (学習・教育・指導)

生活援助・生活支援

自己調整と社会的性 (学習・教育・指導)

校内/他機関 連携シート 戻る

<http://www.port.ac.jp/gsl/>

[illegible]

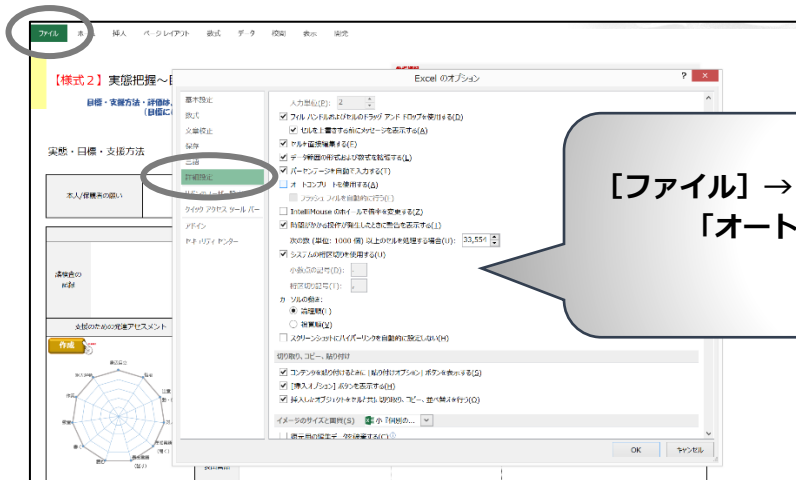
10. もしページを間違えたら・Excel の予測変換機能の解除

ページを間違った際は、全てのトップページから「はじめのページ」に戻ることができる



どの年齢のトップページでも OK !
「はじめのページ」から戻る

Excel の予測変換機能を解除したいとき



【ファイル】→【オプション】→【詳細設定】
「オートコンプリートを使用する」の
チェックを解除する

11. ご質問・お問い合わせ

※各【様式】の記入方法に関しては、記入マニュアル参照

A²研究会: a2iepss@gmail.com 事務局 岩山カイナ

Assessment
A²
Accommodations

引用・転載の際は、上記アドレスまでお知らせください
著作物の無断複製・改変などの行為は、著作権法の例外を除き禁止されています